

平成28年度 学校経営報告書(自己評価)

学校番号	38	学校名	清水南高等学校・同中部	校長名	合田 俊弘
------	----	-----	-------------	-----	-------

* ゴシック体は重点項目

	取組目標	成果目標	達成状況	成果	評価と課題
ア	中高一貫教育校にふさわしい教育課程の検討、授業改善及び学習指導の充実を図る。	「授業がわかる」と答える生徒の割合: 中部部 80%、高校 80%	中 93% 高 80.3%	A	校内研修や授業見学を重ね、ICT 利用やアクティブラーニングの導入が進んだ。生徒が意欲を感じ、わかる授業につながっている。
		週5日以上家庭学習に取り組む生徒の割合: 中部部 80%、高校 80%	中 78.7% 高 77.1%	B	目標値をわずかに下回った。家庭学習には教科間の差がある。部活動との両立や通学時間等の課題があり、生徒自身が時間を管理する力を育てたい。
		校内演奏会、公開レッスン等実施回数: 年間計 12回 美術鑑賞、実技講習会等実施回数: 年間計 10回	音楽専攻は校内演奏会など12回、 美術専攻は実技講習会など13回実施	A	授業時間外で演奏会や講習会など様々な学習機会を提供することで、専門知識や技術を身につけ、高い進路希望をもった生徒を育ててきた。職員の負担は少ないが次年度も継続したい。
		芸術科を本校の特色として感じている生徒の割合: 80%	中 87.4% 高校 81.1%	A	校舎内外での展覧会、校内演奏会などを通し、芸術を身近に感じる生徒が増え、本校の特色と感じている。
イ	こころざしを育むための進路指導の充実を図る。	講演、講義等の回数: 年間計 7回	8回	A	講演会は社会性を育てることに重点がおかれた。一方、夏季休業中の企業研究や就業体験では職業観を育てるキャリア教育に取り組んだ。
		中学: 学力到達度調査(中3の評価A以上を27%以上) 高校: 国公立大学実合格率(普通科38%以上)、芸術系大学実合格率(芸術科70%以上)	40.1%(11月) 普通 国公立32% 芸術 69.6%	B	中3生は、国公立大をめざせるS, A段階が48人で、学力は着実に伸びている。高校進路指導には3年部を主に資源を集中し努力したが、国公立大合格は目標を下回った。芸術科も目標を若干下回ったが、最難関の東京芸大受験が6人など、生徒が高い進路目標をかかげた結果でもあった。
ウ	中高が連携し、効果的な生徒指導を推進する。	年間の交通事故件数: 中部部・高校ともに前年度比半減	中 9→3件 高 8→5件	B	中高合計では昨年の半数以下だが、高校では目標未達成。学校周辺の通学路には危険箇所が多く、継続した指導が必要。
		「信頼できる先生がいる」と答える生徒の割合: 中部部70%、高校 70%	中 71.3% 高 64.7%	B	高校で目標値を下回った。ボイスシャワーなど生徒への働きかけを継続し信頼につなげたい。
		「自分には良いところがある」と答える生徒の割合: 中部部70%、高校70%	中 74.3% 高 66.3%	B	高校で目標値を下回った。生徒の自己肯定感を高める取組には一定の効果がみられた。

		「相談室だより」及び「教員向け相談室通信」発行：年間計 10回	「相談室だより」13回 「教員向け相談室通信」0回	B	「相談室だより」は多くの先生の協力で、毎月発行することができた。月初めに出せるようにしたい。「教員向け相談室通信」の発行はなかったが、管理職の声掛けなどで、ストレスチェックの結果は県平均より良い状況だった。
		「学校に相談できる人がいる」と答える生徒の割合：中等部 80%、高校80%	中 83% 高 72.9%	B	高校で目標値を下回った。生徒への接し方を工夫するとともに、様々なチャンネルを通じて生徒が相談しやすい環境を整えたい。
エ	学校行事、生徒会活動、部活動等の充実を図る。	部活動に一生懸命取り組む生徒の割合：中等部 90%、高校 80%	中 89.7% 高 83.5%	B	中等部で目標値を若干下回った。部活再編計画を見直すなど、生徒の希望や実態に見合った部活動体制づくりに取り組んでいる。
		海外研修(中三、高二)で「充実している」と答える生徒の割合：中等部90%、高校 90%	中 94.4% 高 88%	A	様々な場面で自主的に判断し行動する姿が見られた。(中) 事前・事後も含め、研修旅行全体に生徒の能動的な活動ができていた。(高)
		地域に目を向けた教育活動の実施：年間5回	7回以上	A	地域主催の行事や施設訪問、ボランティアなど地域での交流機会は多かったが、管弦楽部や生徒会、任意募集などが主となった。
		「学校が楽しい」と答える生徒の割合：中等部 80%、高校 80%	中 83.9% 高 72%	B	高校で目標値を下回った。高校生の意見を汲み、生徒にとって魅力ある学校づくりにつなげたい。
オ	開かれた学校づくり、安心・安全の学校づくりを推進する。	土曜オープンスクール参加者数：年間1,800人 ホームページアクセス：年間300,000件	参加1,524人年 856,807件	B	オープンスクール参加者数は目標値を下回ったが、学校ホームページには1日平均2,300件を超えるアクセスがある。
		PTA 総会出席率：50%(中高共通) 学年保護者会等の開催に対する満足度：70%	45.7% 84.9%	B	PTA総会の出席率は目標を下回った。従来の地区会を改編した学年コース別保護者会は出席率59%、昨年比で倍増した。意見交換のしやすい運営に努める。
		実践的な防災訓練実施：年間3回 地域防災訓練参加率：中等部 70%、高校 35%	3回目を2/17に予定 中 74.6% 高 48.1%	A	防災訓練の反省を踏まえ避難対応を見直している。地域防災参加率は目標値に達したが、高校生の一層の参加を促し、地域連携につなげたい。
		委員会：年間 3回開催 講話：年間 5回実施	3回 9回	B	校内で深刻な不祥事発生はない。他校での不祥事や校内でのニアミス事案等を防止対策に生かしたが、委員会と研修に割く時間は限られた。
カ	事務関係業務の見直しと改善を図る	学校経営予算の執行残：10万円未満	例年どおり達成予定	A	昨年同様 計画通りの目標に向かい実現できる予想である。